

令和6年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
瑞穂市立本田小学校	瑞穂市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
瑞穂市立本田小学校	https://edu-mizuho.com/honden/page-6867/

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
瑞穂市立本田小学校	https://edu-mizuho.com/honden/20230220_4624/	https://edu-mizuho.com/honden/20230220_4624/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
 - ☐ 一部、計画通り実施できていない
 - ☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
 - ☐ 実施していない

<特記事項>

HPにて、特別の教育課程特例校の概要や、行う理由について公表している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

瑞穂市の現状と同様、本田小でも年々外国人児童が増加してきている。どの児童も楽しい学校生活を送るためのコミュニケーションツールである英語を、1・2年生の早い段階で導入することで、国や文化が違っていても互いの良さを受け入れる人間関係が自然に生まれつつある。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校では、1・2年生から英語に慣れ親しむことで3年生への接続がとてもスムーズであった。また、学習した単語を積極的に使ったり、センテンスを使用して仲間とコミュニケーションを図ったりもできた。

4. 課題の改善のための取組の方向性

3に示した課題を踏まえ、校内研修を行うことが必要と考えられる。思考しながら英語を使い、必然性のある言語活動を授業に仕組む研修を今年度、特に取り入れていくべきであるとする。また、スモールトークなども日常的に取り入れていきたい。